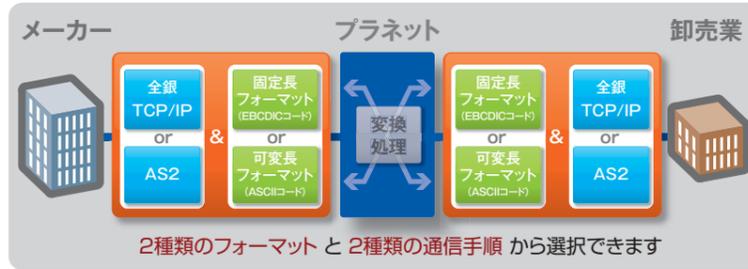


安心して利用できる プラネットのEDIサービス



貴社システム環境に 合わせた導入が可能

貴社の基幹システムに最適な「フォーマット」(固定長or可変長)と「通信手順」(全銀TCP/IP or AS2)を選択でき、相手側の環境に依存しない接続が可能になります。(フォーマットの変換は無償です)



3重化による 安心のバックアップ体制

ホットスタンバイによる2重化に加え、遠隔地に設置したバックアップシステムにより3重化の体制を実現。災害時にも安心してサービスをご利用いただけます。

貴社における緊急時にも 無償で対応

貴社の通信機器の不具合時でも、インターネット上でのデータアップロード/ダウンロードにより、データ交換が継続できます。

■ 接続までの流れ



■ ご利用料金概要 (メーカー様のご負担となります)



※一時金、月次基本料は「ご利用(接続)タイプ」と「接続先数」によって決まりますので、詳細は下記窓口にお問い合わせください。

基幹EDIサービス



Electronic Data Interchange service guide

より正確で、よりスピーディー。
業務効率化を実現する標準EDI

さらなる業務効率化を実現する プラネットのEDI!

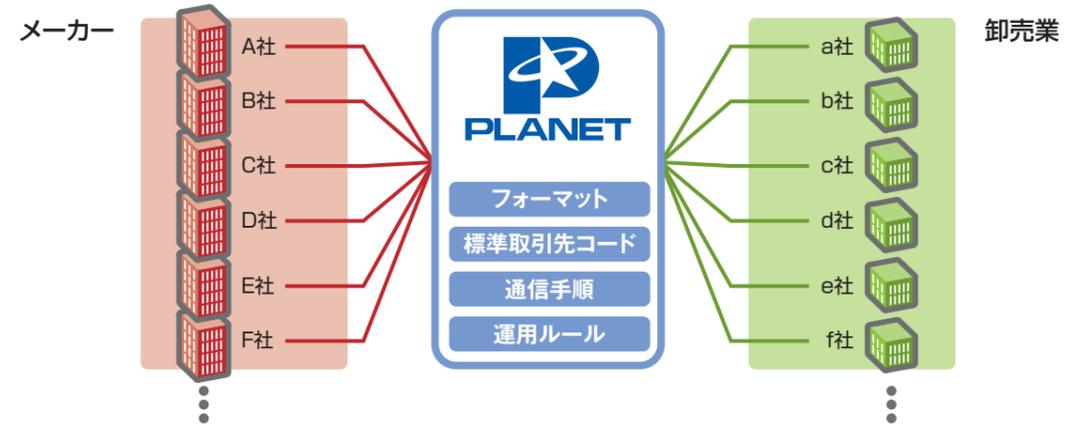
スピードアップ
&コストダウン

EDIデータの
標準化を実現

標準コードにより
販売分析が
すばやく、正確に

標準化されたEDIのメリット

受発注、出荷、請求、支払いなど、企業間で混在する各社仕様の商取引データを標準化することで個別対応を削減し、メーカー・卸売業間の基幹業務の効率化を可能にします。



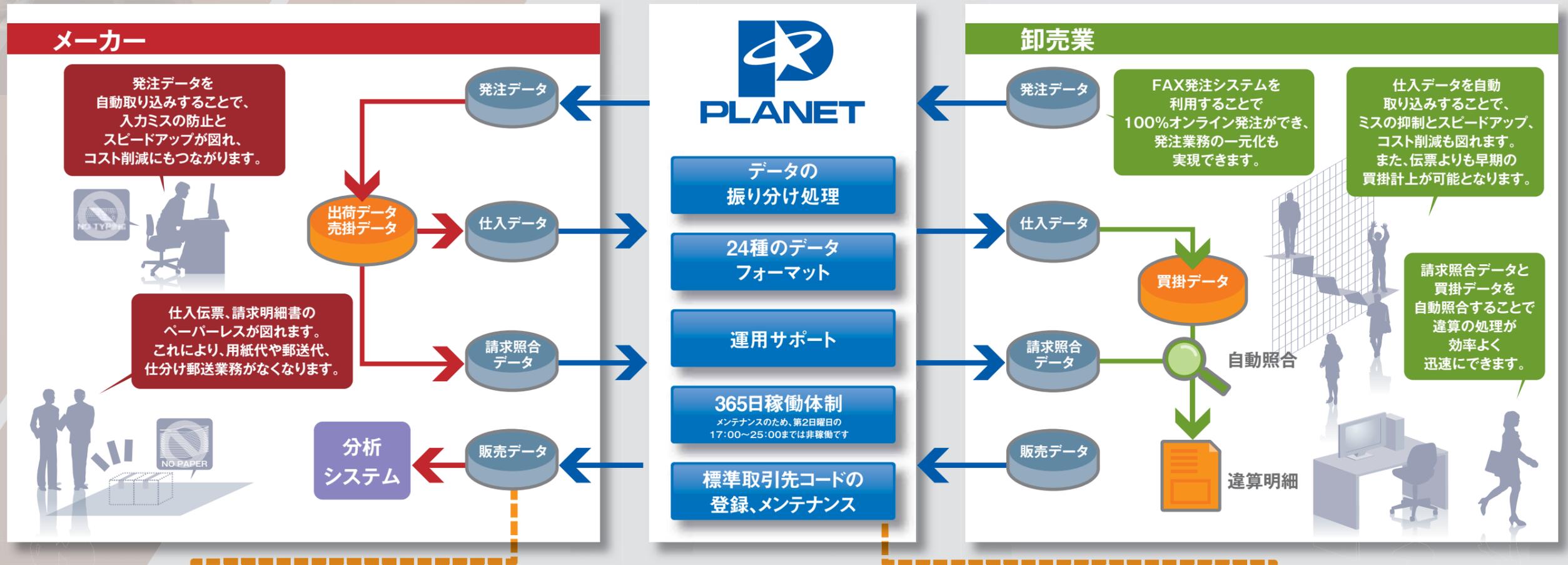
※プラネットの基幹EDIは現在、化粧品・日用品業界をはじめ、OTC医薬品、ペットフード・ペット用品、家庭用品、健康食品、家庭紙、ペーパー・衛生用品、介護用品、消耗家電、理美容などの隣接業界で導入が進んでいます。

発注
受注

売掛
買掛

請求
支払

販売
実績
管理



販売データをもとに戦略の立案が可能!

販売データとは、卸売業が小売業に納品した実績(商品、数量、納品価格、販売店など)をメーカーに日々通知するデータです。フォーマットやコードが標準化されていて集計・加工が容易なので、販売実績をタイムリーに把握できるのは勿論のこと、迅速な現場対応や販売戦略の立案に活用することもできます。また、消費者からの自社商品の取扱店の問い合わせにスムーズに対応でき、販売ロス削減にもつながります。

標準取引先コードのメリット

標準取引先コードとは、小売業の店舗や、卸売業の支店・物流センターなどを示す共通のコードです。全てのEDI接続企業が利用することで、各社におけるコード変換作業を軽減し、データ交換の効率化・自動化が実現可能です。現在プラネットでは約34万件の標準取引先コードを管理しています。

